

中野区立小・中学校令和2年度給食費の改定について

中野区の学校給食は、安全安心な食材選びや食文化の継承を目的とした行事食等により給食内容の充実を目指してきた。一方給食費は、小学校は平成24年度に中学校では平成29年度に現単価へ改定した以降は再改定を行っておらず、価格上昇等の影響により十分な給食提供が難しくなっていることから、以下のとおり改定する。

1. 給食費の改定

現行給食費による献立への影響を解消し、栄養面や食事量の確保と中野区の学校給食を充実していくために給食費の改定が必要であり、中野区立小・中学校令和2年度学校給食費1食単価を次のとおりとする。このことにより、国産食材の使用や、旬の食材を使用した日本の伝統的な行事食等が可能になると考える。

		令和元年度 一食単価	令和2年度 一食単価 (算定単価)	差額
小学校	低学年	245円	258円	+13円
	中学年	265円	278円 (277.94円)	+13円
	高学年	285円	298円	+13円
中学校		322円	339円 (338.87円)	+17円

2. 食材の価格変動

(1) 主な食品の価格動向について

ア 飲用牛乳

平成24年度以降価格の上昇が続いている。

牛乳代金は給食一食単価のうち1.5～2割程度にあたり、ほぼ毎日提供するものであるため、その値上がりは給食会計を非常に圧迫するものである。

* 飲用牛乳1本あたり価格

	保護者負担額(円)		保護者負担額(円)		保護者負担額(円)
平成24年度	45.45	平成27年度	48.92	平成30年度	49.90
平成25年度	45.78	平成28年度	49.18	令和元年度	51.03
平成26年度	47.64	平成29年度	49.38		

イ パン

毎年少しずつ価格上昇がみられる。近年はバター等副資材の値上がりの他、加工賃や運搬費用（いわゆる人件費）による影響が大きい。最低賃金が上昇している昨今、今後も値上がりする可能性が高いと思われる。

*主要なパンの価格推移（円）

小麦粉量※	食パン		丸パン		黒砂糖コッペパン		ぶどうコッペパン	
	50g	70g	50g	70g	50g	70g	50g	70g
平成 24 年度	31.66	42.53	45.54	50.65	47.14	52.96	50.48	57.64
平成 31 年度	33.88	45.54	53.37	58.87	50.37	56.74	55.62	64.09
24 年度からの 上昇金額	2.22	3.01	7.83	8.22	3.23	3.78	5.14	6.45

※小麦粉量・・・パンの大きさ(サイズ)を表す。50g＝小学校中学年 70g＝中学校

ウ 米

現在、中野区立小・中学校では週 3～4 回程度は主食が米飯となっているため、精米価格の動向も非常に影響が大きい。

米の価格は平成 26 年産新米を底値とし、その後は値上がり傾向にある。米の価格は作柄にも大きく影響されて変動するが、今年の新米は価格が下がるほどの大豊作とは考えづらい。さらに運送費用の値上げ等他の経費の要素も含めて鑑みても、来年度（令和元年産新米）価格が値下がりになる可能性はほとんどないと思われる。

【参考】区立小中学校給食費 1 食単価の推移（平成 23 年度～）

年度	小 学 校			中 学 校
	低学年(円)	中学年(円)	高学年(円)	全学年(円)
平成 23 年度	230	250	270	300
平成 24～28 年度	245	265	285	315
平成 29 年度～	245	265	285	322